

Y君へ

ラジオネーム：いちじく

クラス会の幹事さんから同級生、同期生の訃報を知らされると、かなりショックで、とても淋しくなります。

それは忘れたころにぽつり、ぽつりとやってきて、そういう知らせが若い頃よりちょっと増えたよなと思っていたある日、Y君の訃報に接しました。

音信不通になって30年以上。Y君何してるのかなー、きつと元気で、多分幸せにやってるんだろうなーと思っていた矢先のことだったので、にわかに信じられませんでした。

Y君は同じクラスのわりと仲がいいグループの一人で、独特のリアクションでクラスの人気者。今でいうキモ可愛い感じのキャラクターで、風変わりだけど、とにかく一緒にいて退屈しないのが魅力で、次はどんなリアクションをしてくるのか、いつも楽しみにしていました。

あるとき、教室からY君が消えたと思ったら、教室の床にある点検用通路の蓋をあけ、皆の心配をよそに床下を探検していたことがあって、今でもクラス会で必ずと言っていいほど話題になるんですよ。

もう一つは、ピアノの得意な同級生がピットソングを弾いて、

ピアノの周りでなんとなく歌っていたら、Ｙ君がいつの間にか楽器置き場からトライアングルにタンバリン、鈴など打楽器の類を持ちだしていきなり配りだしたのから、みんなおかしいやらびっくりやらでとにかく大うけ、私にはスネアドラムのスティックを一本だけ渡されて、これどうするのよと思ったら、おかしくてたまらなかったことを思い出します。

Ｙ君は大学から九州に行ってしまったって、向こうで家庭を持ち、こちらに帰ってくることは余りなかったけど、旅行を兼ねて会いに行った友人の話では、こちらでの様子では考えられないほど落ち着いて、肝臓の具合が気になる、というのもあって、静かに暮らしていたと聞きました。

Ｙ君は、もしかして、若い頃のエピソードはふるさとに置いて来たんじゃないのかなって、土地を変えて人生も変えたかったのかもね、なんてふと思ったものです。

Ｙ君、ふるさとのクラスメイトに楽しい思い出をありがとう。いまは大切なご家族を静かに見守っていると思います。

もう少し先に天国のクラス会があったら、また会って楽しい話をしましょうね。

